

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation 本社・大野木事業所

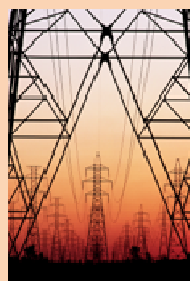
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2 <http://www.safetyweb.co.jp>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

EXECUTIVE SUMMARY エグゼクティブサマリー	2
IEC: 規格解説: CISPR 12 ED. 6.0 (2009-01) の A1 車両非搭載受信機: 主な変更点	3
IEC: 新規格リスト	6
国際テーマ: UN/ECE: 規制 NO. 10 の改訂版 03 への日本からの誤り訂正提案 1	8
国際テーマ: EU: NEMKO: 安定器内蔵形ランプ - 蛍光灯及び LED の適用規格	9
国際テーマ: 製品認証制度解説: ロシア: GOST-R 認証システム	12
USA: FCC: パーミットバットアスク(PBA)手順の解説: KDB より	13
USA: FCC: 試験所認定要求事項の見直し/ACCLASS 試験所認定機関申請	17
USA: エネルギー省 DOE: エネルギー保護規格: 缶飲料の自動販売機、洗濯機	19
USA: 食品医薬品局 (FDA) へのレーザ製品の届出について	21
USA: IEEE: 新規格リスト	22
カナダ: 官報通知 SMSE-012-09: 妨害引き起こし機器規格 002 (ICES-002) 発行 5 23	
カナダ: 官報通知 DGTP-011-09: 帯域 698-806 MHz 内の無線マイク等デバイス	23
EU: R&TTE 整合規格リスト修正: EN 300 386 及び EN 302 500 を掲載	25
EU: 新消費者安全マーク新設の実現性、CE マーキングとの関連性	25
EU: CENELEC: 新規格リスト	28
EU: ETSI: 新規格リスト	29
オーストラリア: 無線通信ラベリング(電磁両立性) 通知 2008 への変更	30
オーストラリア: 情報技術機器 ITE: EN 55022 等使用可能な規格	31
中国: 電子レンジ等 家庭用機器 新版規格の要求	33
中国: 開閉機器等 低電圧電気製品 新版規格採用の要求	34
中国: 自動車製品強制製品認証: 依拠すべき関連国家規格	35
日本: 総務省: 人体曝露: 3 GHz 以上についての局所吸収指針の在り方	37
日本: 総務省: 情報通信審議会: ITS 無線システムの国際動向について	38
日本: 総務省、経済産業省: 南米 4 カ国で日本方式の地上デジタルテレビ規格採用	39
日本: 経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令第 1 項基準及び第 2 項基準の改訂	40
TUTORIAL: CE マーキングとは?	24
コスモス・コーポレーションからのお知らせ	43
コスモス・コーポレーションからのご案内	43



IEC: 規格解説: CISPR 12 Ed. 6.0 (2009-01) の A1 車両非搭載受信機: 主な変更点

- 適用範囲における変更
 - 適用範囲は、従来、内燃機関、電気手段又は両者により推進される車両及びボート、それに内燃機関を装備したデバイスであった。今回の修正により、デバイスの範囲が拡張された。即ち、内燃機関又は牽引用電池(トラクションバッテリー)を装備したデバイスと、幅広いものに変更された。
 - 又、航空機、鉄道などけん引システムは除外するとなっていたが、家庭用器具も除外されることが明記された。
- 用語及び定義における変更
 - 車両の例として、“床掃除機”が、デバイス device の例として、“人が後方から歩いて運転する床掃除機”が追加された。けん引用電池を駆動動力に使用する車両及びデバイスが本規格の適用範囲であることを反映した修正。けん引用電池の定義が追加された。
- 附属書 G 現行の流れ図及び脚注が、新しい流れ図及び脚注で置き換えられた。

USA: FCC: パーミットバットアスク(PBA)手順の解説: KDB より

- 本手順は、電気通信証明機関 (TCB)により認証授与の発行が可能なデバイスの種類を、拡張する。
- 通常の TCB 承認に踏み切るには、技術的に十分成熟していない(試験手順が確立していないなど)幾つかの形式のデバイスに対し、FCC の監督 oversight を組み入れることにより、TCB 承認を可能にした。
- TCB は、“Permit But Ask (PBA)” 条件下のデバイスに対し承認を与えることが出来る、しかし、承認に先立ち FCC ガイダンスを得る必要がある。

EU: 新消費者安全マーク新設の実現性、CE マーキングとの関連性

- 2007 年夏、CE マーク付きであるが安全でない玩具が EU へ輸入された際、欧州議会は、委員会に、欧州共通消費者安全マークを新設することの価値を、評価するよう依頼した。
- 委員会スタッフ評価結論
消費者安全マークの導入は問題を解決するよりも問題を招来することになり、適切でないと考えられる。それよりも、CE マーキングシステムを支援する現行メカニズムを厳格に強制しそして適切に執行することが必須であると考ええる。従って、市場査察及び国境コントロールがキーの要素である。

日本: 総務省: 人体曝露: 3 GHz 以上についての局所吸収指針の在り方

- 携帯電話端末等から発射される電波の人体側頭部における比吸収率 については、現在、3 GHz までの周波数について許容値 (局所吸収指針)を定め、規制を導入している。
- 今後、3 GHz 以上の周波数について、第4世代携帯電話等での利用が想定される。この周波数についての局所吸収指針の在り方について、情報通信審議会へ諮問を行う。
- 答申を希望する時期 平成 22 年 3 月頃

日本: 経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令第1項基準及び第2項基準の改訂

- 平成 21 年 9 月 11 日付けで、平成 19 年度の重大事故報告の分析結果等を踏まえ、技術基準 (第1項、第2項)が改正された。
- 電気用品の技術基準を定める省令第1項基準は、以下の(1)から(3)を目的として改正された。
 - (1) 事故事例等を踏まえた技術基準の改正
 - (2) 新技術対応関係
 - (3) 最新の JIS 対応関係
- 施行日: 平成 22 年 9 月 1 日

コスモス・コーポレイションからのお知らせ

9月7日から12月7日まで特定電気用品の新規営業活動を自主的に休業しております。
皆様にはご迷惑、ご心配をおかけいたしておりますが、詳しくは、弊社ホームページ
「経済産業省からの指導に関して」をご確認ください。

コスモス・コーポレイションからのご案内

A2LA試験所認定を受けました！

当社の松阪 EMC センターは8月24日付けで、“ISO/IEC 17025, Electrical Testing”
の試験所として A2LA に認定を受けました（認定番号=2900.01）。

認定規格(一部抜粋)

【静電気試験】

- ・ EN 61000-4-2
- ・ IEC 61000-4-2
- ・ ISO 10605 (2008)
- ・ ISO 10605 (2001)
- ・ SAE J1113-13
- ・ ES-XW7T-1A278-AC (CI 280)
- ・ GMW3097 (2006) Sections
3.6.1, 3.6.2, 3.6.3
等

【過渡サージ試験】

- ・ ISO 7637-2
- ・ ISO 7637-3
- ・ SAE J1113-11
- ・ DC-11224 (2007/06), Section 9.1, 9.2
- ・ DC-10614
- ・ ES-XW7T-1A278-AC (CI 220)
- ・ GMW3097 (2006) Sections
3.5.2, 3.5.3, 3.5.4, 3.5.5
- ・ ECE Reg. 10, Annex 10
等

詳細な認定試験規格は以下の URL にてご確認ください。

<http://www.a2la.org/scopepdf/2900-01.pdf>

【お問合せ先】

株式会社コスモス・コーポレイション 営業本部 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

TEL : 0598-30-5225

FAX : 0598-30-5571

URL : <http://www.safetyweb.co.jp>

E-mail : sales@cosmos-corp.com

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC 及び安全(EMC and Safety) 分野において、世界の主要機関/地域により規定/施行され、かつ電気電子製品デバイスに適合が求められている、規格/法規制関連情報を、お届けいたします。重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等 国際機関、並びに、FCC UL を含む 米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 営業販売促進課まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-60-1827 Fax 0598-60-0300

- 発行：年間 11 回 発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

English version of the Newsletter is available. Ask for a sample from sales@cosmos-corp.com

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社 コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作者に属します。

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関 米州	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2009-10-1 (No. 03)

発行所： 株式会社 コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp>
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人： 濱口慶一

編集人： 倉品光雄 NARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2009 株式会社 コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。